

#### ■米国：エネルギー省、2010年度予算要求において原子力関連予算を大幅削減

米国エネルギー省（DOE）は2009年5月7日、オバマ大統領の予算教書演説（2009年2月26日）を受け、2010年度予算要求の詳細を公表した。原子力発電プラントの新規建設を支援する「Nuclear Power 2010」プログラムは2,000万ドルに大幅削減された（2009年度歳出予算では1億7,750万ドル）。加えて、使用済燃料等の最終処分場であるユッカマウンテン処分場の開発予算は、原子力規制委員会（NRC）の許認可対応費用のみ計上され、1億9,680万ドルに削減された（同2億8,830万ドル）。原子力分野で増額された主なものは、次世代炉原子力発電システムを開発する「GEN-IV Nuclear Energy System」プログラムと原子燃料サイクル研究開発（旧「Advanced Fuel Cycle Initiative」）であり、それぞれ1億9,100万ドル（同1億8,000万ドル）および1億9,200万ドル（同1億4,500万ドル）に増額された。